

# 復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

## 【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二のことわざの意味としてふさわしいものを、1から4までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 「笑う門には福来たる」

レベル5

- 1 いつもここにこしてると、しぜんによいことがめぐってくる。
- 2 いつもここにこしてると、あまり気持ちがたわらない。
- 3 いつもここにこしてると、わるいことばかりがやってくる。
- 4 いつもここにこしてると、よいこともわるいこともめぐってくる。

1

例文…わたしのクラスはいつも明るく笑い声がたえない笑う門には福来たるを絵にかいたようなクラスです。

二 「石橋をたたいて渡る」

レベル5

- 1 どうどうとしたふるまいをすることのたとえ。
- 2 とてもあぶないことをすることのたとえ。
- 3 用心の上にも用心することのたとえ。
- 4 うきうきした気持ちで歩いていることのたとえ。

3

例文…計算テストで百点をとるために、石橋をたたいて渡るように何度もたしかめた。



# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

## 【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の故事成語こじせいごの使い方として正しいものを、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 「矛盾」むじゆん

レベル5

- 1 公園にブランコがあるのは矛盾だらけだ。
- 2 あなたの言いわけは矛盾だらけだ。
- 3 日本の冬がさむいのは矛盾だらけだ。

2

矛盾の意味…物事や話している内容などのつじつまがあっていないこと

二 「推敲」すいこう

レベル5

- 1 わたし書いた読書感想文の推敲をしよう。
- 2 わたし書いた読書感想文は推敲になる。
- 3 わたし書いた読書感想文に推敲される。

1

推敲の意味…文章を何度も練り直すこと



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

模範解答

## 【言語の問題】

- 1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の□に共通して当てはまる「へん」を、1から3までのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 反主直目  
 □・□・□・□  
 レベル3

1 きへん  
 2 ごんべん  
 3 さんずい  
 板・柱・植・相

1

二 由永羊主  
 □・□・□・□  
 レベル3

1 きへん  
 2 ごんべん  
 3 さんずい  
 油・泳・洋・注

3



# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

## 【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の文のうち、しゅうしょくご修飾語に当たる言葉を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 赤い風船が、木の上をふわふわととんでいる。

レベル7

- 1 赤い
- 2 風船が
- 3 とんでいる

1

二 わたしは、きのう友だちと図書館へ行った。

レベル7

- 1 わたしは
- 2 図書館へ
- 3 行った

2

修飾語に当たる言葉を探すためには、ほかの部分の内容をくわしく説明する部分で、主語でも述語でもない部分を探してみよう。



# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

## 【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の文の  の「こそあど言葉」が指していることを、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 きのお、学校の図書館で新しい本を見つけた。わたしは、 をかりて読んだ。

- 1 きのお
- 2 学校の図書館
- 3 新しい本

レベル7

3

二 家の近くに公園ができた。あす、わたしは  で友だちと遊ぶよていだ。

- 1 家の近く
- 2 公園
- 3 あす

レベル7

2



# 復習シート 第四学年 国語

組
番号
名前

模範解答

## 【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の言葉をコンピュータでローマ字入力するとき正しい打ち方を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 日記 **レベル3**

- 1 N I K I
- 2 N I I K I
- 3 N I K K I

3



二 勉強 **レベル3**

- 1 B E N N K Y O U
- 2 B E N K I Y O U
- 3 B E N K Y O -

1



# 復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

## 【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の□の漢字は「音」と「訓」のどちらの読み方をしているでしょうか。  
「音」または「訓」の読み方をしている漢字を1から3までのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 「音」の読み方をしている漢字 **レベル5**

1 **開**会式を行う。

2 ふたを**開**ける。

3 本を**開**く。

1

二 「訓」の読み方をしている漢字 **レベル5**

1 **合**同

2 **合**体

3 **気**合**い**

3



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

レベル7

ゆう子さんが、消ぼうしよの、しよ長さんにインタビューしています。

ゆう子 「こんにちは。わたしは、南小学校の町田ゆう子です。今日は消ぼうし署のことについて聞きにきました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

しよ長 「ここではたらいっている人は、約百人です。火事が起きたときなどには、消ぼうし隊のみなさんが、きゆう急たいなどの部たいに分かれて仕事をします。」

ゆう子 「いろいろな部たいがあるんですね。その中で、消ぼうし隊の人は、

A

しよ長 「消ぼうし隊の人の仕事は、火事の知らせがあったら、いち早く出動し、出火をくい止めることです。」

ゆう子 「さい後に、

B

しよ長 「この地いきの火事の一歩の原いんは、放火です。次は、たばこの火の消しわすれ。その次は、たき火です。みなさんも、あぶないので火遊びはぜつ対にやらないでくださいね。」

ゆう子 「はい。わかりました。今日はいろいろと教えていただき、ありがとうございました。」





ゆう子さんは、しよ長さんにどんなことを聞いていますか  
にあてはまる、ゆう子さんが言った言葉を書きましよう。

A

B

A 「その中で、消ぼうたいの人は、

どのような仕事をしているのですか

」

※同様の答えは正解とします。

B 「さい後に、

この地いきの火事の原いん

を教えてください。」

※同様の答えは正解とします。

ゆう子さんは、しつ問をしていて、そのしつ問にしよ長さんが答えています。  
つまり、ゆう子さんのしつ問の内容は、その後のしよ長さんの話の中から考えることが  
できます。



# 復習シート 第4学年 国語



組

番号

名前

模範解答

## 【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

そこで、しかたがないので、ぼうやだけを一人で町まで行かせることにしました。「ぼうやお手々をかた方お出し。」とお母さんぎつねが言いました。その手を、母さんぎつねはしばらくにぎっている間に、かわいい人間の子どもの手にしてしまいました。ぼうやのきつねはその手をひろげたり、にぎったり、つねって見たり、かいで見たりしました。「何だか変だな母ちゃん、これなあに？」と言って、雪あかりに、またその、人間の手にかえられてしまった自分の手をしげしげと見つめました。

（出典 新美南吉 「てぶくろを買いに」）

(1) お母さんぎつねは、ぼうやのかた方の手を何にしてしまいましたか。文中からぬきだして十二字で書きましょう。

レベル7

か
わ
い
い
人
間
の
子
ど
も
の
手



問題文の「何にしてしまいましたか。」と同じ文に目をつけて、文中からびつたり  
の言葉を探してみましょう。

(2) きつねのぼうやが、自分の手をしげしげと見つめたのはなぜですか。もつともふさわしいものを、次の1〜4の中から一つえらびましょう。

レベル6

- 1 はじめて見る人間の手がめずらしくて、ふしぎに思ったから。
- 2 はやく母さんぎつねと手をつなぎたかったから。
- 3 手の上に雪が落ちてきて冷たくて気持ちが悪かったから。
- 4 人間の手にかえられてしまったことがいやだったから。

1

しげしげとは、物をじっとよく見るという意味があります。言葉の意味と文中の子ぎつね言葉からもつともふさわしい子ぎつねの気持ちを考えてみましょう。